

村山松根

註

國學者、歌人。文政五年九月薩摩國鹿兒島城下生れ、

明治十五年一月四日歿（八三—八二）。舊姓樺山、末村氏を繼ぎ、文久

二年村山に改姓。諱時澄、幼名ニ之助、通稱木村仲之丞、村山齊助、

下總。變名北條右門、北條時村、谷右門。號清遠樓、清遠老人。山田

清安、八田知紀等と學ぶ。嘉永二年おのゝ騒動に連坐して脱走。責任

を負つた實兄は判決、實母も遠島處分。變名として山郷隆盛、僧月照、

梅田雲濱等と國事を奔走。のち赦されて京都留守居副役、京都藩邸作

事奉行、近衛家典用人となる。維新後は松原神社祠官、霧島神宮少宮

司を経て明治八年上京、宮内省出仕、梨木宮家令等を務めた。また在

京華族の歌道師範となり、京都で歿した。

香川景樹書讀集「繪島廻浪」全二冊（明治十五年十月、二十八日清遠樓

藏、古川半七發兌）を編輯刊行。